

各位

上場会社名 高橋カーテンウォール工業株式会社
 代表者 取締役社長 高橋 武治
 (コード番号 1994)
 問合せ先責任者 取締役管理部長 影山 信博
 (TEL 03-3271-1711)

業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、平成23年12月期第2四半期において特別損失を計上する見込みとなりましたのでお知らせいたしますとともに、最近の業績動向を踏まえ、平成23年2月14日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年12月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成23年1月1日～平成23年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,290	△10	△45	△50	△5.71
今回修正予想(B)	3,930	△295	△300	△1,441	△164.52
増減額(B-A)	△360	△285	△255	△1,391	
増減率(%)	△8.4	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年12月期第2四半期)	4,848	13	0	19	2.13

平成23年12月期通期連結業績予想数値の修正(平成23年1月1日～平成23年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,460	60	5	△20	△2.28
今回修正予想(B)	7,795	△455	△460	△1,630	△186.08
増減額(B-A)	△665	△515	△465	△1,610	
増減率(%)	△7.9	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成22年12月期)	8,964	△298	△373	△425	△48.13

平成23年12月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成23年1月1日～平成23年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,450	5	△15	△30	△3.42
今回修正予想(B)	3,290	△102	△86	△1,428	△163.09
増減額(B-A)	△160	△107	△71	△1,398	
増減率(%)	△4.6	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年12月期第2四半期)	4,183	147	156	158	17.76

平成23年12月期通期個別業績予想数値の修正(平成23年1月1日～平成23年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,730	90	65	45	5.14
今回修正予想(B)	6,370	△265	△230	△1,585	△180.94
増減額(B-A)	△360	△355	△295	△1,630	
増減率(%)	△5.3	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成22年12月期)	7,913	237	213	△444	△50.24

修正の理由

(1) 個別業績予想の修正理由

第2四半期業績について、売上高は一部第2四半期に見込んでいた工事の完成がずれること等により、予想を1億60百万円下廻る32億90百万円になる見込みです。

営業利益、経常利益は工場の稼働率低下に伴う製造固定費の負担割合増加により利益率が低下して、予想を下廻る△1億2百万円、△86百万円になる見込みであり、四半期純利益は下記の特別損失の発生及び業績の見込みの低下から、繰延税金資産の取崩しによる法人税等調整額4億7百万円の計上によって△14億28百万円になる見込みです。

通期業績について、売上高は当期に見込んでいた工事の完成が次期にずれること等により63億70百万円になる見込みです。損益面においても第2四半期業績の修正理由に加えて、受注単価の下落により利益率が低下して前回予想を下廻る見込みです。

(2) 連結業績予想の修正理由

第2四半期業績について、個別業績予想の修正理由に加え、連結子会社の建設事業での受注、売上工事が減少したため、売上高は予想を3億60百万円下廻る39億30百万円になる見込みであり、損益面では売上高の減少に加えてたな卸資産の収益性の低下による簿価切下げが発生したことから各利益とも予想を下廻る見込みです。

通期業績についても、第2四半期業績及び個別通期業績を受けて売上高は77億95百万円となり各段階利益とも前回の予想を下廻る見込みです。

(3) 特別損失の計上

当社滋賀工場の収益性低下に伴い、平成23年第2四半期に固定資産の一部を減損処理することといたしました。これに伴い、平成23年連結業績並びに個別業績において特別損失としてそれぞれ6億77百万円発生する見込みです。

又、連結子会社の業績悪化による損失計上により、平成23年第2四半期個別業績において関係会社評価損50百万円、及び回収可能性が厳しくなった同子会社への貸付金に対して設定した貸倒引当金繰入額1億63百万円が特別損失として発生する見込みです。

なお、連結業績におきましては連結調整されるため、当関係会社評価損及び貸倒引当金繰入額は発生しません。

以上